

高南廃校を主導した人々 ～内部告発と府教委内部資料から

共産党府議の宮原威さん（高南応援団の会員）に電話で陳情

2001年10月

高南応援団・支える会事務局 K 氏 - 宮原さんと社民の小沢府議で政治的打開の方策の下ごしらえが出来ないか？今は、そういう時期だと思うが？お願いできませんか？

宮原府議—自公は結束しているから、府教委案反対で与党は動かない。与党は、府立高校再編推進ということで、基本的に統廃合計画に賛成だ。自分が高槻の府会議員として、政治的な連携で民主 O 府議と公明 T 府議のこの姿勢を変えるということは、ほぼ不可能だ。

廃校案阻止のためには、高南関係者や市民の反対世論と運動の力がキーポイントで、自分も共産党もその一翼として、みなさんに協力したい。

注:その後、宮原府議には、高南応援団・支える会の一員として、大阪地裁提訴の際には、弁護士 8 人の選任や府議会陳情、府教委交渉等で最後まで、府議として最大の協力と支援をいただいた。

与党の府議では、問題のこの O 府議が、力を持っている。民主の副幹事長だ。廃校反対とっている茨木の民主党の O T 府議は、確かに高槻選出の O 府議と、仲が悪いが、民主党に最近入ったばかり、いわば一匹狼だ。廃校反対と言っているが、政治的な力がない。高槻の O 府議の方が、影響力がある。

(K 氏—K 府議がカギか？—)

—K 府議の対応、やはり選挙が近い。公明党の票だけではダメだ。こういうことで、反対運動や市民の意見に押されているのだろう。選挙は怖いから。しかし、自公民の与党の結束はなかなかつよい。結局、いつものような態度をとるだろう。

注:府議会本会議で廃校条例案採決のときに、K 府議は反対ではなく議場途中退席、与党は賛成。

民主党系教職員組合元最高幹部との内部事情の情報交換

2001年9月末

民主党系教職員組合元執行委員長 T 氏— O 府議が、高槻南高校の廃校をゴリ押しをしたのは間違いない。O 府議には、島上に対する異常な母校愛がある。

(K 氏 - コンプレックスか?)

—昔からそうだが、異常だ。彼はずっと「島上高校を良くしよう、上昇させようと運動してきた」、

このために高槻南が潰された。上の進学校とくっつけば、島上高校が良くなると思込んでいた。

(K氏—社民の府議によると、9月28日の府会議員たちと教育長らの会議では、民主の〇府議は「これは案の案だといってはずだ・・・」と怒鳴ったそうだが、案の案とはどういうことか？自分が、府教委幹部と談合していて、反対運動が強くなってきたので動揺し、いらだっているんだろうな？)

—そう、これは元々、彼の「案の案」だった。彼の「要求と案」は、三島高校を潰して島上にくっつけて島上のアップを図ろうというものだった。だから、高槻南は、「案の案」だというわけだ。府教委の幹部も大分ぼやいていたらしい。

注・裁判所に、原告側から提出された府教委の内部文書の計画案の段階では、三島や芥川ができていて、高槻南はなかった。この内部文書では、三島高校を廃校にしたら、反対運動が強くなると分析していた。

(K氏—三島高校とは、おどろいたな。何を考えているんだい、この〇府議は、信じられないな？此でも革新？人権団体幹部？ 単位制高校で、何でアップできると考えているのか？)

—それが、彼の〇〇なところだ。わけがわかっていない。高校として高南のように、文武のバランスのとれた学校として良くなるわけがない。彼はとにかく島上のことしか頭にない。どうしようもないやつだ。府議選では落選したらいい。島上の卒業生ばかりが、有権者ではない。民主支持の俺らも彼の案には反対した。事実、うちの組合員は、それぞれ高南廃校反対運動でがんばっている。

俺らは、府教委（幹部）にもきちんと言ってきた。大変なことになるぞ。責任はもてないぞとね。いわないことではない。ところが、府教委が我々の言うことを聞かなかった。いっていた通りにこんな大変なことになって。府教委が痛い目にあって、和佐と網倉（2人とも元教育監・理事）が責任を取ってやめたらいいんだ。わしらは〇府議のことも、府教委のことも知らん。高槻南のケースは、府教委にとっては、初めての大きな失敗だ。今までの再編整備計画は、うまく出来てきた。〇府議のゴリ押しで、高槻南に持ってきて大きな失敗をした。しかし、わしらは言ってきた。忠告してきた。

(K氏—芥川では、校長が過去1年間で3回も全校集会で「統廃合の発表があっても動揺しないように」と言ってきたそうだな。)

—芥川高校は、島上との統合を覚悟して、自分の学校独自の改革構想論議を半年間も止めてきた。我々も、最悪の時は、芥川だと言ってきた。島上高校では、単位制高校の将来について、進学の機能も持たせるべきだという立場と、それを望まない立場で別れている。

(K氏—高槻市教組の態度が悪いが、高南の生徒が署名用紙を持って、中学校に行くと協力してくれないと泣いている。実際、どこの学校の分会でもそうだったそうだよ。)

—しかし、これも少し変わってきたと聞いている。あれだけの反対運動になって変わってきているのではないかな。高槻教組は高校はどこをつぶれても構わないと思っているんだろう。高槻南高校の府高教分会は、地域のことにあまりかかわって来なかった。この点が高槻教組などと交流してきた芥川高校などとの違いだ。

(K氏—高教組の姿勢も問題だ。現場も……。高槻南問題をまともに取り上げていない。単位制を美化している。府教委の統合発展論は誤りだ。これを批判できない。批判しようとすると押さえようとすると……。省略)

—確かに統合発展論はダメだ。しかし、高教組はそんなことはない。

(K氏—そうとは思えない。でも対応が弱い、悪い)

(K—O府議を変える方法はないか？何かこのO府議の提案の事実を裏付けるものはないか？—)

—府教委がそういう事実を、かくして言わないだろう。

*注:その後、応援団側の情報公開請求や内部文書の調査分析から、府議の提案の裏付けは、おおそ明らかになった。その中から、府議だけでなく、府教委事務局幹部との合作、インチキ統合計画のシナリオ造りがはつきりした。府教委は、自らこれを、その検討案の段階で、理屈っぽい、嘘っぽい、といていた。論理矛盾を来さないように、数字を工夫しようと言ってきた。府教委や、高槻市在住の府教委参事の佐々木敏彦氏は、裁判で府議との関係なども含めて、弁護士から厳しく追及されていた。(訴訟支える会事務局)

(K氏 - 府教委のどのレベルで、話をつけたのか？教育監の網倉か、教育振興室の和佐理事か？)
—もっと上のレベルと思うが。

(K氏 - 竹内教育長か？) —そのあたりかも知れない。

(K氏 - 行政出身で、教育職には強気なのに、政治家には弱いんだな・・・)

*注:高槻南高校の廃校を主導した竹内教育長は、その後、府教委の不祥事問題でマスコミにたたかれ処分を受け、和佐理事は、教育監となって近畿大学に天下りした後で、大阪府警に別件の賄賂事件で逮捕、府教委事務局が自宅捜査された。高南廃校決定取り消しを求めた大阪地裁での裁判終結から、1年5ヶ月後の2006年2月11日のことだった。

高南廃校に追い込んで出世した府教委幹部は、高南廃校の1年後を境に、不祥事で府教委からさることになった。

府教育委員長だった熊谷信昭さんや津田教育委員、三林教育委員、井村教育委員など、2003年の8月26日の府教育委員会議で、定時制生徒等へ「夜光虫、キャバレー」などと揶揄する差別的な発言の責任をとって、事実上、その後、相次いで辞職することになった。

(K氏—11月16日の決定直前では遅い。その前にO府議を引き出して大衆団交できないか？高槻南関係者で詰めることが必要だ。O府議を逃げられないようにする必要がある。このような馬鹿げた経過なら教育委員対策も必要だが、その前に彼を崩す必要があると思う。これが出来れば、全て崩れる。出来るだろうか？)

—O府議のことだから逃げ回るだろう。つかまらないだろう。

(K氏 - 民主党系の組合だからあんなのところから影響を行使できないか？)

—とてもO府議はダメだと思う。昔からあんなやつだ。島上のことしか考えない。あいつなんか、どうにでもなったらいいんだ。落選したらいいんだ。

以上